

特別企画展

2003年2月1日(土)～2月23日(日)

2月1日の特別企画展公開は午後1時から

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日：毎週月曜日

主催：ミュージアムパーク茨城県自然博物館/日本植物画倶楽部

共催：NHK水戸放送局
後援：ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会



Arisaema heterophyllum

マイヅルテンナンショウ(サイモ科) 絶滅危惧II類/画:高橋和人

アトが植物を救う

絶滅危惧種と植物画の世界

Endangered Species

Botanical Art

入館料：大人520(420)円/高・大学生320(200)円/小・中学生100(50)円
()内は20名以上の団体料金です。

* 65歳以上の方、障害者手帳を持参の方、未就学児は入館無料です。
* この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。
* 会期中の毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。

記念行事

「ボタニカルアート入門」講師：高橋和人氏(日本植物画倶楽部)ほか
2月2日(日)午前10時～午後3時/定員：40名(先着順)/参加費：無料/対象：小学4年生以上
※上記イベントは事前申込制となっております。

●次回企画展のご案内
第27回企画展「サイエンス霞ヶ浦 きみは霞ヶ浦に何をみるか…」
2003年3月15日(土)～6月15日(日) 3月15日の企画展公開は午後1時となります。

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL.0297-38-2000
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>



特別企画展

アートが植物を救う

Endangered Species

Botanical Art

絶滅危惧種と植物画の世界

みなさんは、ボタニカルアートという言葉を知っていますか。ボタニカルアートとは、正確で精密に描かれた植物画のことをいいます。この特別企画展は、日本植物画倶楽部会員によって制作が進められている「絶滅危惧植物図譜」の原画の中から、153点のボタニカルアートを、博物館に収蔵されている絶滅危惧植物の標本とともに展示します。

4分の1は絶滅危惧植物

環境省が2000年に刊行したレッドデータブック植物編によると、日本に生育する約7,000種の野生植物のうち、約4分の1にあたる1,665種が絶滅の危機に瀕しているといわれます。

その主な原因には、開発による生育環境の破壊や園芸目的の乱獲があげられます。

しかし原因はそれだけに留まりません。身近な雑木林や湿地が、人の手が入らないことで荒れ放題となり、以前はふうに見られた植物の生育環境が、悪化の一途をたどっているという状況があちこちで起こっているのです。



マイヅルテンナンショウ

Arisaema heterophyllum サトイモ科
絶滅危惧Ⅱ類 画：高橋和人



野焼きによる植生管理

茨城県水海道市の小貝川では、毎冬、草刈りや野焼きにより、湿地の植物が生育できる環境を維持している。



ムニンノボタン

Melastoma tetramerum
絶滅危惧ⅠA類 画：石川美枝子



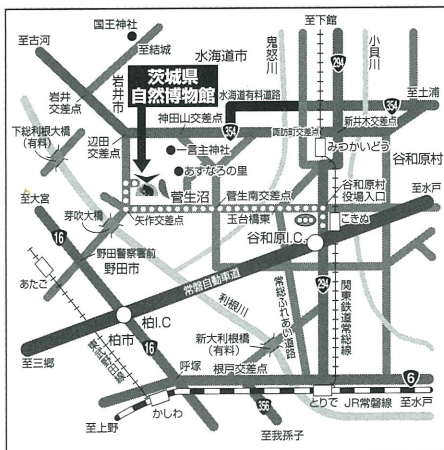
ムニンノボタンの保全に取り組む
東京大学小石川植物園では、小笠原諸島の絶滅危惧植物を温室で育て、現地に植え戻しをしている。

日本植物画倶楽部が取り組む「絶滅危惧植物図譜」の制作

日本植物画倶楽部は、ボタニカルアートを描き鑑賞することを通じて、自然に親しむ心を培うことを目的とし、1991年に創立された団体で、約350名の会員から成っています。

「絶滅危惧植物図譜」の制作は、多くの植物が絶滅の危機に瀕している状況と自然環境保全の重要性を訴えるため、1999年に始まった企画です。

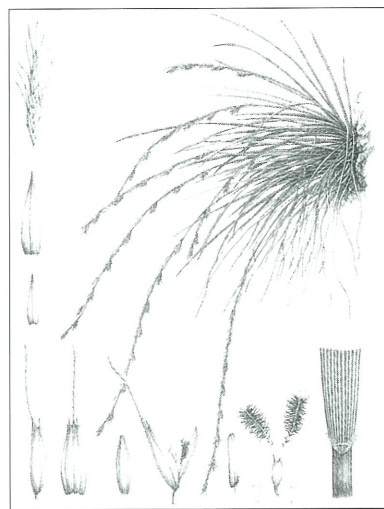
この特別企画展を通じて、なぜ多くの野生植物が絶滅の危機に瀕しているのか、そしてそれらの植物を救うにはどうしたらいいのかを、みなさんとともに考えます。



交通案内

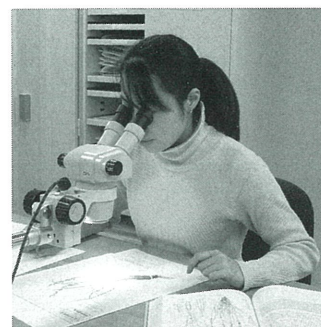
- 車利用の場合
 - ・常磐自動車道谷和原I.C.から20分
 - ・古河方面から境町経由50分
 - ・下館方面から下妻市経由1時間10分
 - ・土浦方面から水海道市経由1時間
- 鉄道・バス利用の場合
 - ・関東鉄道常総線水海道駅から関東鉄道バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車→「辺田三叉路」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東武野田線雲岩駅→茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東京駅八重洲南口から高速バス「岩井行き」乗車→「辺田香取神社」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

※ペット及び遊具等の持ち込みはご遠慮下さい



フクロダガヤ

Tripogon longearistatus var. *japonicus*
絶滅危惧ⅠA類 画：大原京子



植物画の制作

植物画の制作では、細部の観察は顕微鏡で行われる。